

住吉区総合教育会議
令和4年度 主な教育・子育て関連事業

(令和5年1月末現在)

目次

1. 教育活動支援事業

◆ スクールソーシャルワーカー（SSW）配置	1
◆ 「福祉ガイドブック」不登校児童・生徒家庭支援（教職員サポート）事業	2
◆ 子ども・若者育成支援事業	3
◆ 学校図書館活性化事業	4
◆ 「住吉学習クラブ」自主学習習慣づくり支援事業	5
◆ すみよし学びあいサポート事業（生活困窮世帯の中学生への学習支援）	6
◆ 発達障がい教育支援事業	7
◆ 子どもの朝食欠食率改善推進事業	8
◆ 生涯学習推進員の支援・はぐくみネット事業の推進	9
◆ あいさつ運動の推進	10
◆ 防災・減災教育と活動の展開	11
◆ 「学校園補助スタッフの活動支援」学校園教育活動支援事業	12
◆ 「漢字検定チャレンジ支援」学校園教育活動支援事業	13

2. 児童虐待防止関連事業

◆ はぐあっぷ「地域の拠点づくり・潜在的リスクへのアプローチ事業	14
◆ 住吉区版「重大な虐待ゼロ」に向けた地域・医療連携ネットワーク事業	15
◆ すみちゃんまちぐるみ「子ども安心」見守り事業	16

3. 子育て支援関連事業

◆ こどもサポートネット事業	17
◆ 子どもの将来のライフプラン支援事業	18
◆ すみちゃん子育て情報フェア	19

スクールソーシャルワーカー（SSW）配置

令和4年度予算:4,034 千円

1. 目的

児童生徒をめぐる問題(不登校、いじめ、虐待)については、学校だけでの問題解決が困難なケースも多く、積極的に関係機関等と連携した対応が求められている。各中学校に社会福祉等に関する専門的な知識や技術を有するSSWを派遣することにより、学校と外部の関係諸機関との連携体制を構築し、児童生徒と家庭(保護者)の問題解決に繋がるようサポートする。

2. 内容

不登校やいじめ等の生徒指導上の課題に対応するため、社会福祉等に関し専門的な知識や技術を用い生徒が置かれている様々な課題を分析・評価し支援するSSW1名を配置している。

SSWは、週3日・1日6時間 住吉中学校を拠点校として活動し、「こどもサポートネット事業」と連携して支援を行っている。各学校園からの要請に応じて派遣も行う。また、SSWに対し、専門的実践を行ううえでの指導・助言等をするスーパーバイザー(SV)を委嘱、月1回程度SSWへ指導・助言等を実施している。

3. 令和4年度事業 指標・実績

指標

SSWを活用して解決を図ろうとした事案36件以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 対応件数33件(うち不登校15件、児童虐待6件、家庭環境の問題25件) ※重複あり
- 接続小学校(東粉浜小・住吉小)での対応件数13件
- スーパーバイザーによるスーパーバイズ6回
- 教員対象の校内研修、校内連携体制の構築
- こどもサポートネット SSW、隣保館等との連携
- スクールカウンセラーとの情報共有

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

4,124千円 (教育委員会事務局 校長経営戦略支援予算)

主な増減理由

給与改定による報酬額の増

「福祉施策ガイドブック」 不登校児童・生徒家庭支援（教職員サポート）事業

令和4年度予算:126千円

1. 目的

学校における不登校支援にあたり、福祉的行政サービスを利用できるケースにおいて、どの行政サービスが必要・適切であるかを教員に示すとともに、教員が保護者に区役所等の適切な行政サービスを受けるよう提案していくよう、行政サービスの情報や仕組みを分かりやすく伝えるための冊子を作成する。

2. 内容

児童・生徒と家庭への支援につながる行政サービス情報を掲載した冊子「福祉施策ガイドブック」を作成し、区内の小中学校・幼稚園24校園へ配付(1校園あたり5部)する。また、住吉区ホームページにも冊子情報を掲載(7月)。

3. 令和4年度事業 指標

指標

各学校園長へのアンケート調査において、当該冊子が不登校支援をはじめ、学校教育活動上「有効・有用である」との回答割合:100%

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 冊子「福祉施策ガイドブック」を作成し、区内学校園及び区役所各課に配付したほか、総合教育会議、教育行政連絡会等で配付を行い、合計 253 部配付(7月～8月)
- 住吉区ホームページに冊子情報を掲載(7月)

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

126千円(増減なし)

子ども・若者育成支援事業

令和4年度予算:5,793 千円

1. 目的

不登校やひきこもり等で悩んでいる若者や就労に自信が持てない若者が、社会生活を円滑に営むことができるようするために、子ども・若者育成支援地域協議会を開催し、福祉や保健、教育、就労支援、医療などの関係機関が連携し、効果的かつ円滑な支援ができる体制を構築するとともに、相談事業や居場所づくり事業、関係機関や地域のネットワークを活用し、対象者やその家族を支援していく。

2. 内容

- 不登校やひきこもり等で悩む若者やその家族に対する相談(毎週火曜日・木曜日)や居場所事業(月1日 第3木曜日)を実施
- 区民向けの啓発として研修会やフォーラム等を開催

3. 令和4年度事業 指標

指標

相談件数のべ350件以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 相談 延べ件数 312件
内訳 : 対応案件52件 (前年度からの継続42件、当年度の新規10件)
主訴 : ひきこもり18件 不登校5件 学校問題等18件 その他11件
- 事前登録者 3名
- 就労支援 2名

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

5, 793千円(増減なし)

4

学校図書館活性化事業

令和4年度予算:4,477 千円

1. 目的

区内小学校に図書館司書を派遣して、図書館の環境整備や読み聞かせ、調べ学習支援などの読書指導等を行うことで、児童が本に親しむ生活習慣を身につけ、集中力や学力の向上を図ることをめざす。

2. 内容

司書派遣校(長居小・苅田小)へ1名派遣(週2~3回)。

3. 令和4年度事業 指標

指標

派遣校において「読書が好きである」と回答した児童の割合80%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 派遣校において「読書が好きである」と回答した児童の割合 74.9%
(令和4年度全国学力・学習状況調査:児童質問紙より)
- 週3回 区内小学校2校に司書を派遣(苅田小、長居小)

※教育委員会(中央図書館)により全市展開されている「学校図書館活用推進事業」において学校司書の全小中学校への配置が完了したことに伴い、本事業は令和4年度末をもって集約化する。

<住吉区 小学校14校・中学校8校>

学校司書8名 (各校週1回6時間、1名が2~3校兼任)

主幹学校司書1名 (週4日30時間、南住吉小学校に配置)

「住吉学習クラブ」自主学習習慣づくり支援事業

令和4年度予算:193千円

1. 目的

子どもの自主学習習慣の定着及び基礎学力向上を図るため、民間事業者と協定を結び、放課後の学校施設を利用して学習支援を行う。

2. 内容

実施場所：遠里小野小学校、我孫子中学校、墨江丘中学校

➢ 週2日、1日2コマ、各校30名程度

実施科目：国語・数学・英語(中3は理科・社会科も対応)

参加者負担：月額1万円(大阪市塾代助成事業の利用も可能)

3. 令和4年度事業 指標

指標

受講後のアンケートで「学校の授業が(以前より)わかるようになった」と回答する受講者80%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 令和4年度事業者:株式会社トライグループ
- 各教室の人数
遠里小野教室4人 我孫子教室23人 墨江丘教室5人 合計32人
- 無料体験実施 2回実施(8月23日、26日)

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

193千円(増減なし)

すみよし学びあいサポート事業 (生活困窮世帯の中学生への学習支援)

令和4年度予算:4,463千円

1. 目的

生活保護世帯を含む生活困窮世帯の中学生を対象に「学びあいの場」を提供。

地域ボランティアの活用や基礎学力向上のための学習支援を行うことにより、勉強意欲を高めて高校進学率を高めるとともに、不登校リスクのある生徒の問題解決を図る。

2. 内容

事業対象：学習意欲を有する中学生30～40名程度

実施場所：錦秀会住吉区民センター

実施回数：火曜日・金曜日(年間65回) 1回2時間(18時45分～20時45分)

実施内容：少人数での学習支援

受講料：無料

実施手法：株式会社キズキへ委託

3. 令和4年度事業 指標

指標

- ① 参加生徒の出席率80%以上
- ② 参加生徒の成績向上率70%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 継続的な出席や成績向上を目指し、個々の子どもの実情に応じた少人数の学習支援を年間65回行い、学習習慣の形成と基礎学力の向上を図っている
- 利用者 24名
- 出席率 81.7%(12月末現在)

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

4,463千円(増減なし)

発達障がい教育支援事業

令和4年度予算:7,136 千円

1. 目的

発達の特性等が背景にあり、行動面・学習面・情緒面で困難を有する児童について、心理相談員が保護者からの相談や学校等関係機関との連携を通して、児童の成長発達を促進する。

2. 内容

心理相談員(2名配置)による当該児童・保護者との個別面接、行動観察等を通じた児童の特性の査定及び、特性理解について学校等関係機関に対するコンサルテーションやケースカンファレンスへの参加を行う。

3. 令和4年度事業 指標

指標

本制度の利用で発達障がい児童の学校生活がスムーズになったと感じる学校の割合が80%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 2名の心理相談員が160件のケースを分担して担当
- 保護者面談・児童との個別面談を定期的に実施。また、学校等関係機関と連携し、環境調整等を行っている。必要に応じ、ケース会議にも出席している

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

7,526千円

主な増減理由

支援困難事例への対応力強化等による報酬額の増

子どもの朝食欠食率改善推進事業

令和4年度予算:43 千円

1. 目的

朝食を欠食する子どもの割合を減少させるため、平成29年度から令和元年度までの3年間、関係協力機関と協働でモデル校に対して学習事業を実施した。実施後の食生活に関するアンケート調査を踏まえ、夏休みの課題「バランス朝ごはんを作ろう！」を他校においても実施し、保護者への啓発を強化するため、朝食リーフレットを配布する。

2. 内容

- 区内中学校で、夏休みの課題「バランス朝ごはんを作ろう！」を実施する
- 保護者懇談会の期間中やイベント時等において、校内でフードモデルを展示し、保護者や生徒への啓発を図る
- 保護者懇談時等において、「朝ごはんを食べよう！」を題材としたリーフレットを保護者に配布する

3. 令和4年度事業 指標

指標

- 夏休み課題「バランス朝ごはんを作ろう！」の実施を区内中学校全校に広める
- 区内中学校全新1年生に朝食啓発用冊子を配付
- 区内中学校全校で懇談時等において、保護者に「朝ごはんを食べよう！」を題材としたリーフレットを配付

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 区内中学校7校で、夏休みの課題「バランス朝ごはんを作ろう！」を実施
- 区内中学校全校で朝食啓発用冊子を全新1年生に配付(在校生には前年度配付済み。8校)
- 区内中学校全校で保護者懇談時等において、「朝ごはんを食べよう！」を題材としたリーフレットを保護者に配付(8校)

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

43千円(増減なし)

生涯学習推進員の支援・はぐくみネット事業の推進

令和4年度予算:168 千円

1. 目的

生涯学習推進員やはぐくみネットコーディネーターの活動を支援し、小学校を拠点とした学習機会の提供、地域における人と人や諸団体の間の繋がりを深めていくことで、豊かな地域教育コミュニティづくりをすすめる。

2. 内容

「生涯学習推進員」「はぐくみネットコーディネーター」の活動支援として、会議の開催支援や研修・交流会を実施し地域活動における教育コミュニティづくりに関する見識を深めたり、ボランティア同士のコミュニケーションを深める機会をつくる。(令和4年6月末現在：生涯学習推進員 57名、はぐくみネットコーディネーター 88名)

3. 令和4年度事業 指標

指標

- ① 学習の成果を学校及び地域に還元できたと思う」と回答した生涯学習推進員の割合:60%以上
- ② 「はぐくみネットコーディネーターの活動により、子どもの教育のための地域のネットワークが前年度に比べ深まったと思う」と回答したはぐくみネットコーディネーターの割合:50%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 生涯学習推進員 57名
- 生涯学習ルーム事業の区広報紙特集記事(9月号)、HP 等による広報(随時)
- 生涯学習推進員研修の開催(11月2日) 場所:長居植物園
- はぐくみネットコーディネーター 90名
- はぐくみネットコーディネーター会議の開催(11月30日)

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

168千円(増減なし)

あいさつ運動の推進

令和4年度予算:59千円

1. 目的

「住吉区德育基本プラン」に基づき、絆や調和を大切にし、「和」を尊ぶ道徳心に満ちた人材を育成するため、「あいさつ運動」に取り組む。人と人とのかかわりを大切にする人材の育成を図り、あいさつの声があふれる活気あるまちになることをめざす。

2. 内容

家庭、学校、地域であいさつの輪が広がるよう、大人も子どもも自分から進んであいさつをする運動を進めるため、地域団体等へののぼりの設置や広報活動を行う。

3. 令和4年度事業 指標

指標

住吉区の学校園、地域などであいさつが活発に交わされると感じる区民の割合:40%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 住吉区内の学校園(24か所)に「あいさつ運動」のぼりを配付

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

59千円(増減なし)

防災・減災教育と活動の展開

令和4年度予算:災害に備えた自助・共助・公助の対策事業として 8,325 千円

1. 目的

地域での安否確認や避難訓練、学校での防災講演や体験型の防災学習を行い、地域・学校が連携して防災事業を進める。

2. 内容

- 学校と地域との合同訓練の実施
- 区役所と連携した学校での防災学習の実施
- 区総合防災訓練(毎年11月第2土曜日:午前中)

3. 令和4年度事業 指標

指標

ここ1、2年お住まいの地域(小学校区)の防災力が向上したと感じている区民の割合45%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

● 区役所と連携した防災学習の実施 9校

小学校:苅田南(9月7日、12月2日、14日)、墨江(11月8日)、東粉浜(11月9日)、清水丘(11月10日)
長居(11月22日)

中学校:我孫子南(6月16日、17日)、我孫子(11月10日、14日、16日)

墨江丘(6月28日、29日、10月9日、11月18日)、大和川(11月12日、12月15日)

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

0千円

主な増減理由

「災害に備えた自助・共助・公助の対策事業」予算を計上していたが、「防災・減災教育と活動の展開」だけの予算ではないため、令和5年度より混同をさけるため予算額は0とする。

防災学習については、地域・学校・区が連携し独自の防災教育活動として取組みを進める。

12

「学校園補助スタッフの活動支援」学校園教育活動支援事業

令和4年度予算:2,807 千円

1. 目的

区内小・中学校および幼稚園において、学校園の課題に応じて活動する教育活動補助スタッフが、継続的に学校園をサポートすることができ、児童・生徒・園児がより充実した学校園生活を過ごせるよう支援を行う。

2. 内容

学校園で学習支援や特別支援児童・生徒・園児への支援、語学支援など各学校園の教育活動に応じて活動する補助スタッフに対し、活動実績に応じた報償金を支出し、活動支援を行う。

3. 令和4年度事業 指標

指標

補助スタッフが活動する学校園において、区が行っている支援が自校園の教育活動に役立ったと感じる割合80%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 区内各学校園にて44名が学校園補助スタッフとして活動登録中
- 以降も引き続き、区内各学校園で学校園補助スタッフが活動予定

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

4,870千円

主な増減理由

事業拡充による増

12

「漢字検定チャレンジ支援」学校園教育活動支援事業

令和4年度予算:2,500 千円

1. 目的

令和元年度の全国学力・学習状況調査において、大阪市児童の国語の平均正答率は、全国平均を大きく下回っており、住吉区の平均はさらに大阪市平均を下回る状況にあり、児童の学力向上が求められる。国語は、学力の基礎となる教科であり、漢字学習は、その重要な項目の一つである。目標設定をして漢字学習をすることで、子どもたちの学習意欲を高めるとともに、自主学習の習慣づくりにも資するよう、事業を実施する。

2. 内容

区内14小学校対象児童(各学校4年～6年のうち1学年)に漢字検定の機会をもってもらい、その受検料を支出する。

3. 令和4年度事業 指標

指標

学校長へのアンケートで「漢字検定に取り組むことにより、児童の家庭学習や授業以外での学習時間が増えた」と感じる回答70%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 漢字検定実施済 12校
- 令和5年2月 10日実施予定(苅田小・大領小)

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

4,372千円 (教育委員会事務局 校長経営戦略支援予算)

主な増減理由

事業拡充による増

1

はぐあっぷ

「地域の拠点づくり・潜在的リスクへのアプローチ」事業

令和4年度予算:11,029 千円

1. 目的

子育て世帯の身近な相談の場を確保するとともに、見守りが手薄な対象へのアプローチを行い、潜在的リスク把握と必要な支援につなげることで、虐待による死亡事案ゼロの状態を維持する。

2. 内容

- 地域の拠点(地域集会所等)に子育ての専門職(非常勤の保育士、看護職など)が定期的に巡回し、子育て世帯の身近な相談の場を確保する。また、こどもや子育て世帯を見守る地域ボランティア等への情報提供を通じて、地域における支援力の向上を図る
- 乳幼児健診の狭間期である2歳6か月児を対象に、全家庭への質問書送付等によるポピュレーションアプローチを実施する
- 要対協登録事例の中で特に潜在的リスクが懸念される保育所・幼稚園等の所属のないこども、特定妊婦、乳幼児健診未受診者、保育所・幼稚園等の所属はあるが状況確認が不十分なこども及び要対協登録前の段階にある事例という見守りが手薄な対象へのアプローチを行い、潜在的リスク把握と必要な支援につなげる
- 地域拠点での相談や上記対象者へのアプローチを行うなかで、必要に応じて保育所申請や療育利用手続きのサポート、ファミリーサポート事業や一時預かりの利用調整を行い、確実かつ速やかに支援につなげることでリスクの低減を図る

3. 令和4年度事業 指標

指標

子育てに関し、地域で日頃から気軽に相談できる場がある状態100%

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 全地域で地域見守り支援事務所や子育てサロンの巡回を行うとともに、10地域で子育て何でも相談会の開催など行うほか、保育所、幼稚園、つどいの広場7か所、子育て支援センター2か所についても巡回し情報交換を行っている
- 2歳6か月児に対し、質問票送付によるポピュレーションアプローチを実施中

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

11,121千円

令和5年度予算要求額

子育て相談会周知ビラ作成のため消耗品費の増

住吉区版「重大な虐待ゼロ」に向けた地域・医療連携 ネットワーク事業

令和4年度予算:134千円

1. 目的

医療機関との連携のもと、「住吉区版重大な虐待ゼロに向けた地域・医療連携ネットワーク(仮称)」を構築し、虐待による死亡事案ゼロの状態を維持する。

2. 内容

- 乳幼児健診時、2歳6か月児のポピュレーションアプローチ時に区独自の質問書を送付し、個々のこどものかかりつけ医の情報を把握する
- そのうえで、区医師会・歯科医師会との調整を行い、要対協登録事例の情報提供・見守り依頼を行う「住吉区版重大な虐待ゼロに向けた地域・医療連携ネットワーク(仮称)」を構築する
- 区医師会等の協力を得て、住吉区版重大な虐待ゼロに向けた手引き(大阪府「子ども虐待予防早期発見初期対応の視点」の区版)の作成や関係者への研修を実施し、連携体制を推進する

3. 令和4年度事業 指標

指標

- ① こどものかかりつけ医を把握し、要対協ケースと突合できた割合100%
- ② かかりつけ医を把握した要対協ケースについて、医療機関での見守りが行われている割合100%

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 乳幼児健診時、2歳6か月児のポピュレーションアプローチ時に、個々のこどものかかりつけ医の把握を継続実施中
- 地域担当保健師と小児科医師との顔の見える関係づくりのために、地域担当保健師が医療機関を訪問し、「住吉区版子ども虐待予防早期発見初期対応の視点」を配布・活用を依頼(7月～9月)
- 区内小児科医師と区保健福祉センターとの交流会並びに児童虐待通告に係る研修を開催(2月2日)

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

41千円

令和5年度予算要求額

コロナ禍による研修動画作成費用の減

3

すみちゃんまちぐるみ「こども安心」見守り事業

令和4年度予算:349千円

1. 目的

- こども・子育て世帯にかかる区内関係機関や地域団体等の関係者が幅広く連携し、支援を要するこどもや子育て世帯に早期に気づいて必要な支援につなげる
- 地域をあげて、まちぐるみでこども・子育て世帯の安全・安心を見守る全区民的な機運を醸成することにより、子育て世帯の不安や孤立の解消を図り、虐待を防止することで、こどもたちが希望をもって健やかに成長し、子育て世帯が安心と喜びを実感しながら子育てできるまちづくりをめざす

2. 内容

- こどもや子育て世帯を見守り、支援を要するこどもや子育て世帯に早期に気づき、必要な支援先につなげていくといった取り組みの趣旨、見守り支援の心得、見立ての仕方や関係機関の連絡先等を記したハンドブックを作成する
- 区内の関係機関や地域団体等の関係者が、子育ての現状を認識し、気づきや発見、見立てへ理解を深められるような研修会・講演会などの機会を提供する

3. 令和4年度事業 指標

指標

研修受講後のアンケートにおける見守りの必要性の理解度75%

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 区内の関係機関や地域団体等の関係者等を対象に、昨年度に引き続きヤングケアラー問題についての研修会を開催(2月24日)
- 地域の支援者が、気になる子どもや家庭を支援につなげるために活用できるような子育て相談室をはじめ各種相談窓口を紹介するリーフレット等を作成し、区内の関係機関や地域団体等の関係者に配付予定

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

349千円(増減なし)

1

こどもサポートネット事業

令和4年度予算:16,236千円(区CM自由経費)

1. 目的

区内小中学校において、学校生活や家庭生活・家庭環境、経済的困窮等の課題を抱えたこども及び子育て世帯を発見し、区役所における支援チームと連携して、保健福祉の支援制度や地域資源の適切な支援につなぎ、社会全体で総合的に支援するしくみをつくる。

2. 内容

- スクールソーシャルワーカー(SSW)2名、こどもサポート推進員4名を区役所に配置し、担当の学校ごとにチームで活動する
- 学校の教職員による児童・生徒への「気づき」を活かし、その課題の有無及びその現況を見る化したスクリーニングシートを通じ、スクールソーシャルワーカー(SSW)による専門的見地から課題の状況を評価し、こどもサポート推進員を通じ適切な支援に繋ぐ

3. 令和4年度事業 指標

指標

こどもサポートネットが対象世帯の福祉分野の支援につなぎに役立ったとする学校の割合が95%以上
(こども青少年局・教育委員会が把握する予定)

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- アセスメントによる支援のためのスクリーニング会議Ⅱの開催 42回(12月末)
- アセスメント対象のこどもの数 180名(12月末)
- こどもサポートネットを活用して成果が上がっている事例を区内全学校で共有する取組みを進める

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

16,784千円

令和5年度予算要求額

給与改定による報酬額の増

子どもの将来のライフプラン支援事業

令和4年度予算:1,486 千円

1. 目的

各中学校が進める「性・生教育」授業を支援することで、「自分と家族・社会との関係性や将来の生き方を考える」生徒を増加させ、「未成年の望まない妊娠」を防止し、結婚・妊娠・出産・子育て等のライフデザインを希望どおり描くきっかけとする。

2. 内容

- 区内全8中学校での「性・生教育」の授業の促進を図るため、備品(新生児モデル・妊婦ジャケット)の購入・貸出し及び、区の実情、生徒の発達段階に応じた教育を全学年で実施できるよう、専門講師の派遣等を区内全中学校で実施する
- また、事業を円滑に進めるためには、区内学校関係者の理解と協力が欠かせないことから、子どもの置かれた現状共有のための学習会、実施報告のための学習会を1回ずつ開催し、区内全体で取り組む機運の醸成を図る

3. 令和4年度事業 指標

指標

「将来のライフプランを描くきっかけになった」と答える生徒の割合が80%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- 区内全8中学校と学年ごとに事前にプログラム内容等の打ち合わせを行いながら、順次講演会を開催している

※モデル事業を含めて平成30年度から実施することにより、各中学校が進める「性・生教育」を促進するという事業の目的が一定達成されるとともに、今後は教育委員会作成の「生きる力を育む『性に関する指導』の手引き」に基づき各学校において性教育を実施していくことになるため、令和4年度末をもって事業終了。

すみちゃん子育て情報フェア

令和4年度予算:166千円

1. 目的

子育て世帯が子育て支援情報を一度に収集できる場を提供することで、施設やサービスの利用促進を図る。

2. 内容

区内子育て支援施設(保育所・保育園・幼稚園・認定こども園・小規模保育事業所・地域子育て支援拠点)が一堂に会して、区民に面で施設やサービスの情報を提供するフェアを実施。また、専門職による育児相談も実施し、育児不安の軽減を図る。

3. 令和4年度事業 指標

指標

参加者の満足度85%以上

実績(令和5年1月末現在 ※指標実績値未記載のものは今後集計予定)

- すみちゃん子育て情報フェアをホームページ上で開催(8月)
- 一部の保育施設等に協力を得て、特色などを紹介した動画を作成していただきホームページに掲載(8月)
- 「すみちゃん子育て情報フェア」情報誌を発行し、区役所や関係施設で配架(8月)
- LINE により子育て情報フェアについてのアンケート調査(12月)

4. 令和5年度予算(案)

令和5年度予算要求額

159千円

令和5年度予算要求額

新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度から令和4年度にかけて区民センターでの開催を取り止めており、ホームページ上や情報誌での開催が根付いてきているため、開催方法の検討を行った結果、減となっている。